

パッシブ環境調整工学 大学院授業概要 (シラバス)

2006. 4. 23

辻原 万規彦

【授業科目】 パッシブ環境調整工学 (辻原万規彦)

【授業概要】 この講義では、まず、温熱環境をはじめとするよりよい居住環境の創造を目指すことを考えます。そのために、半戸外空間の活用などをはじめとする、各地の気候風土に即して自然エネルギーを有効に利用するパッシブな環境調整手法について講義する予定です。ここでは、建築内部だけでなく都市施設も扱う予定です。

また同時に、先人の知恵を現代に活かし、かつ過去の歴史を反省することによって、今後の環境調整のあり方を見据えることも考えます。そのために、これまでの環境調整手法の成立や発展過程などの歴史について講義する予定です。

なお、詳細は第1回目の授業の際に伝達します。

【キーワード】 気候風土、自然エネルギー、民家、技術史、空気調和・衛生工学

【テキスト・参考書】 日本建築学会編『シリーズ地球環境建築・専門編2 資源・エネルギーと建築』(彰国社, 4,600 円+税), 彰国社編『自然エネルギー利用のためのパッシブ建築設計手法事典 新訂版』(彰国社, 2,800 円+税), 木村健一編『民家の自然エネルギー技術』(彰国社, 4,381 円+税) など

【評価方法】 出席状況, 適宜出題するレポートなどを総合して, 評価します。